



初期消火活動でお手柄！ そおりサイクルセンター職員

4月に志布志市で発生した建物火災に際し、初期消火を行い延焼を防いだ功労として、5月11日（金）、本町菱田のそおりサイクルセンターに勤める中村正公さんと野村英智さんに志布志消防署署長から感謝状が贈呈されました。

2人は、勤務中に建物から火が出ているのを発見し、周囲に「火事だ！」と呼びかけ、119番通報後、近くの水道ホースで消火活動を行い被害を最小限にとどめられました。

志布志消防所長は、「この一連の行動がなければ、建物は短時間に燃え広がり、全焼は免れなかった。初期消火の判断力と勇気ある行動が火災の延焼拡大を阻止した」と話されました。



▲初期消火活動で延焼を防いだ（写真右から）中村正公さんと野村英智さん



ウミガメが上陸、産卵！ 横瀬海岸

5月12日（土）、午前5時ごろ横瀬海岸において、ウミガメが上陸し産卵しているのが確認されました。

ウミガメ保護監視員の下野明文さんがパトロール中に発見したもので、その後119個の卵が確認されました。

下野さんは、「ウミガメは、とても臆病な生き物で、人の気配のない暗い時間帯に産卵するもの。とても珍しい。」と話されました。

本町では、5月2日（水）に1頭目の上陸が確認されており、8月上旬まで上陸、産卵が続きます。（保護のため、写真は離れた場所から撮影しています。）



▲産卵を終えて海へ帰るウミガメ



地域に元気を！ 溝口千恵子さん

日本和装学園大隅本校総合学園長の溝口千恵子さんは、5月9日（水）に役場を訪れ、4月15日（日）にあすばる大崎において開催された第40回全日本きもの着付フェスティバルの入場料の一部を寄付されました。

大会では、着付けの部、振袖の部の両部門で大隅本校から優勝者が決まり、また、本町在住者5名も入賞を果たされました。

今大会の上位10名が7月に大阪府豊中市で行われる全国大会に出場されます。

溝口さんは、「日本一を目指します。この活動も健康あってのこと。寄付金は、福祉のために利用してほしい。」と話されました。



▲寄付金を町長に手渡す溝口千恵子さん